

要望事項 (優先順位 3)

かいまわりの暗渠管の対策

要 旨

市道二ノ瀬市原線の二ノ瀬トンネル鞍馬側出入口より南側60mの地点、通称「かいまわり」の谷川は、暗渠管によって鞍馬街道を横断し、鞍馬川に続いています。

斜面や谷川上部からの岩石、土砂、落葉、木片等の崩落や流出によって、暗渠管が詰まり、水などが路上に流出し、冬季には路上凍結の恐れがあり、事故の原因ともなります。

現在は、二ノ瀬トンネルも開通し、本道路の交通量も減少しましたが、トンネル内は、人や自転車の通行ができないため、住民以外の通行もあります。通行車両の減少により、自転車の通行速度が増したように思います。本道路は、カーブが重なっており、該当箇所はカーブの陰になっていることから車両の乗上げ事故が起こる可能性も考えられます。

平成29年度に京都府へ「谷川の治山整備ができないか」と問合せをしたところ、「昨年度に整備は行わないと回答した。」との回答で、京都市からは、柵の浚渫など前向きな回答を得ました。

引き続き、構造上の改善を要望しますが、早急な改善がお願いできないのであれば、当面の処置として、管理面でより密度の高い応援を要望します。

地域も高齢化が進み、巡回・点検がままなりません。特に豪雨時等の迅速な巡回及び点検を行っていただきますよう、要望します。

回 答

(産業観光局)

斜面や谷川上部からの岩石、土砂等の崩落や流出について、治山事業を所管する京都府京都林務事務所と協議した結果、事業の採択は、他の要望箇所に比べ緊急性が低く、採択の優先順位も低いため、早急な事業実施は困難であるとのことですが、今後も京都府に対し、事業要望に努めてまいります。

(建設局)

「かいまわり」の谷川の暗渠管及び柵については、大雨時、山からの土砂で閉塞する可能性が高いことは認識しております。本市の厳しい財政状況では、構造上の改善を早急に実施することは困難ですが、道路パトロールにおける点検を実施し、必要に応じてしゅんせつを行い、機能の維持に努めてまいります。

また、台風等の豪雨が予想される場合には、事前に巡回及び点検を行っており、引き続き実施してまいります。